

# 薬学科 ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
薬学科では、所定の卒業要件を満たし、以下の能力を修得した者に学士(薬学)の学位を授与します。	薬学科では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を実現するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。
<b>1 知識・専門性【学びの基礎力を基盤とした専門能力】</b>	
a. 医療人として広い教養を身につけ、高い倫理観と使命感を備えている。【教養・基礎力】 b. 医療の一翼を担う人材としての確かな知識・技術を修得している。【専門性】 c. 地域社会において保健・医療・福祉に貢献できる能力を有している。【専門性】	医療人としての広い教養を身につけるために『武蔵野INITIAL』の中の「全学教養ゼミナール※1」や「薬学準備教育科目」、「薬学基幹科目」をはじめとする多彩な『学科科目(専門科目)』が、また高い倫理観と使命感の涵養のために「Creating Happiness Program (CHP)」などの科目を準備しています。  医療の一翼を担う人材としての確かな知識は『学科科目』において、また技術の修得は「実験実習」、「事前実習」、「保険薬局・病院薬局実務実習」において学び、専門能力や実践力を身につけます。保健・医療・福祉に関しては、「医療薬学」、「薬学臨床」、「衛生薬学」、「法規・制度」などを通して学び、「保険薬局実習」により薬剤師として地域社会において広く健康増進や公衆衛生の向上に寄与できる能力を身につかせます。  ※1 令和7年度以降入学生は「全学教養講座」
<b>2 関心・態度・人格【他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力】</b>	
a. 慈悲の心を持って患者中心の医療を実践できる。【自己認識力・他者理解力】 b. 最新の医療技術、医療の高度化に積極的に対応できる。【主体性・実行力】	「建学」科目で学んだ慈悲の心を基盤として、さまざまな背景を持った患者・生活者と接するための人間性を養うために「薬学臨床」などがあります。  最新の医療技術、医療の高度化に対応できる能力・技量は、「医療薬学」、「薬学臨床」、「事前実習」、「保険薬局・病院薬局実務実習」で学びます。
<b>3 思考力・判断力【課題を多角的に捉え、創造的に考える力】</b>	
a. 研究能力を有し、科学的知見に基づき問題点を発見し、解決できる。【情報分析・論理的思考・判断力】 b. 豊かな創造力を基に、多様な薬学関連分野で活躍できる。【創造的思考力】	研究能力を養うために「卒業研究」を行い、問題発掘・問題解決能力を醸成します。特に研究に興味のある学生には研究者養成コースを用意しています。  幅広い教養科目により身につけた豊かな創造力を基に、多様な薬学関連分野への進路対応を可能にすべく、「キャリア開発科目」、「製薬産業系科目」、「香粧薬学系科目」、さらには「レギュラトリーサイエンス」などを準備しています。
<b>4 交感力・発信力【多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力】</b>	
a. 医療人として必要なコミュニケーション力・プレゼンテーション力を有している。【コミュニケーション力・表現力】	医療人として必要なコミュニケーション力は、「事前実習」、「保険薬局・病院薬局実務実習」や「グローバル薬学科目」で養います。またプレゼンテーション力は「卒業研究」や「キャリア開発科目」などを通して、自らの考えを表現・発信する力を身につけます。